

静心しゅー

第14号

★熊野高校静心図書館★

2019. 1. 23



先生たちがすすめる本

脇村先生が

おすすめしてくれる本は…

『Fラン大学生が英語を猛勉強して
日本のトップ商社に入る話』
間部 理仁／著 宝島社

Q.あらすじを教えてください。

- A. 成績はビリ、スポーツ推薦でなんとか入った偏差値Fランクの大学も辞めてしまった落ちこぼれが、一念発起して自分の人生を変えようと猛勉強する物語です。偏差値30台からロンドン大学へ。学年ビリでもエリートになれる！英語で人生は変えられる！留学経験なしでも英語力を驚異的にあげることができる！そんな現実離れたことを証明してくれる本です。巻末には、偏差値30台から留学経験なしでTOEIC970点、TOEFL96点にまで英語力を驚異的にアップさせた、筆者独自の英語学習法も付いています。この学習法がとても参考になります！！

Q.おすすめコメントをお願いします。

- A. 自分の今置かれている状況に満足していなくとも、それを変えようとするのは本当に難しいことです。しかしこの本の著者は、恩師や身内も手伝って、英語を勉強することによって人生を180度変えてしまいました。この本を読むと、(英語に限らず)自分も頑張らないか！と思えます。この本を読んで、自分も頑張らないか！と思ったみなさんは、今の状況に甘んじることなく、環境を変える意志を強くもって、努力してほしいと思います。また、英語力を上げたい人は巻末の英語勉強法をぜひ参考にしてください！

第6回は
英語科 脇村先生
音楽科 稲葉先生
の2人です。



稲葉先生が

おすすめしてくれる本は…

『空飛ぶタイヤ』
池井戸潤／著 実業之日本社



Q.あらすじを教えてください。

- A. 父親の後を継ぎ運送会社を営む赤松徳郎は、ある日、自社のトラックがタイヤ脱落事故を起こし、死傷者を出してしまったことを知る。事故原因を一方的に整備不良とされ「容疑者」と決めつけられた赤松は警察からの執拗な追及を受ける。さらには会社も信用を失い、倒産寸前の状態に追い込まれてしまう。しかし赤松は、事故原因は整備不良ではなく、事故を起こした車両自体に欠陥があったのではないかと考える。自社の無実を信じる赤松は家族や社員たちのために、トラックの販売元である巨大企業の自動車会社に戦いを挑む。

Q.おすすめコメントをお願いします。

- A. 私は毎朝、新聞に連載されている小説を読むのが日課です。2016年に「花咲舞が黙ってない」の連載を読んでから池井戸潤の作品が好きになりました。TVドラマで「倍返しだ！」が話題になった半沢直樹が登場したからです。その後「半沢直樹シリーズ」もほとんど読みました。今『株屋暴落』を読んでいます。『空飛ぶタイヤ』は、走行中のトラックから外れたタイヤが通行人の命を奪うという悲しい事故から始まるのですが、主人公の誠実な人柄や、その他登場人物それぞれの人間性が細かく描写され、どんどん引き込まれていく物語です。次からつぎへと問題が起こり、赤松社長は逮捕されるのか、会社は倒産するのかはらはらします。クライマックスでは感動があり、最後はお決まりの”どんでん返し”で読後のスッキリ感を保障いたします。



ありがとうございました。
先生のおすすめ本は
図書館のカウンター前に置いています。
ぜひ手にとって、読んでくださいね♪